

教職課程

養護教諭(一種)に関する Q&A

オープンキャンパスや高校訪問などで、高校生、保護者の方から受ける質問から、主なものを選んで回答しています。

目次

1. 本学の教職課程について	2
Q1. 看護師国家試験の受験資格を取得せず、養護教諭の免許することはできますか？	2
Q2. 教職課程を履修できる人数を教えてください。	2
Q3. どのくらいの人が教職課程を履修しているのですか？	2
Q4. 教員採用試験対策は行っていますか？	3
Q5. 毎年どのくらいの人が、採用試験を受験していますか？	3
Q6. 毎年どのくらいの人が、教員として就職しているのですか？	3
Q7. 教育(養護)実習について教えてください。	3
Q8. 教職課程の履修に費用がかかりますか？	3
Q9. 教職課程の履修は大変ですか？	3
Q10. 教職課程の履修はいつから始まりますか？	4
Q11. 教職課程の履修を途中でやめることはできますか？	4
Q12. 教職課程の履修を、途中(2年次以後)始めることはできますか？	4
2. 教員採用試験、教員免許等について	4
Q13. 一種免許と二種免許の違いは何ですか？	4
Q14. 養護教諭として勤務する学校の種類(小学校、中学校など)は選べるのですか？	4
Q15. 教員採用試験について教えてください。	5
Q16. 保健師の免許を取得することで、養護教諭の二種免許状を取得できるのですか？	5
Q17. 看護師のように国家試験があるのですか？	5
Q18. 養護教諭として勤務するためには、どのようなプロセスを経る必要がありますか？	5
Q19. 教員採用試験は難しいのですか？	5
Q20. 大学4年生の時に受けた教員採用試験に合格しなかったら？	6
Q21. 臨時講師としての採用はあるのでしょうか？	6
Q22. 養護教諭を希望していて、臨時講師登録をしないという人はいますか？	6
Q23. 卒業時点で医療機関に看護師として就職した後に、養護教諭になった人はいますか？	6
Q24. 教職課程の履修者で大学院などに進学する人はいますか？	7

1. 本学の教職課程について

Q1. 看護師国家試験の受験資格を取得せず、養護教諭の免許することはできますか？

A1. できません。本学では、看護師国家試験の受験資格の取得を卒業要件としています。

Q2. 教職課程を履修できる人数を教えてください。

A2. 人数制限はありません。

その代わりに、看護学の学修との両立が可能かを確認するため、3年次進級前に、単位習得状況などを確認の上、3年次以後の教職課程の履修継続について判定を行っています。

現時点(令和7年4月)の基準は、

- ① GPA2.5 以上、
- ② 進級試験合格、
- ③ 2年修了時で卒業要件単位の未修得がない、

この3つです。

Q3. どのくらいの人が教職課程を履修しているのですか？

A3. 教職課程開設以後の、各学年での履修者の数を表に示します。

数値は、各学年で最初に開講される教職科目の履修登録者です。学年が進むにつれ、履修者が減っているのがわかると思います。ちなみに、本学の学年定員は80名です。

入学年度	1年次	2年次	3年次	免許授与者
2015	12	12	12	12
2016	18	14	11	11
2017	24	16	17	16
2018	21	12	11	9
2019	33	25	17	17
2020	21	17	12	11
2021	23	21	10	9
2022	27	24	20	19
2023	25	24	12	
2024	15			

Q4. 教員採用試験対策は行っていますか？

A4. 毎年3年次の12月～5月に一次試験対策(教職教養、養護専門)、7月～8月に二次試験対策(場面指導、実技、面接、口頭試問など)を行っています。

一次試験対策は、全てオンデマンド方式での実施です。希望者は誰でも受講することができます。対策講座は、卒業生にも開放しています。

Q5. 毎年どのくらいの人が、採用試験を受験していますか？

A5. 2015年度入学生は、免許授与者12名中6名が受験しました。

2016年度以後、11名中7名、16名中8名、9名中4名、17名中6名、11名中5名、9名中4名、19名中9名です。

免許を取得した全員が、4年次に採用試験を受けているわけではないことがわかつています。

Q6. 毎年どのくらいの人が、教員として就職しているのですか？

A6. 文科省が示している教員就職率を示します。

教員就職率は、正規採用、臨時採用を問わず卒業時に教員として就職した人数を分子、卒業時に教員免許を授与された学生数から、大学院進学者と保育士として就職した人数を減じたものを分母とした数値です(%)。

2015年度入学者以後、66.7%、55.6%、28.6%、37.5%、21.4%、33.3%、37.5%です。

卒業時には看護職として医療機関に就職し、一定期間経験を積んだ後に、教員採用試験にチャレンジする人もいます。

Q7. 教育(養護)実習について教えてください。

A7. 養護教諭の免許を取得するために行う実習を、「養護実習」と言います。

本学では、3年次2月に養護実習Ⅰ、4年次8月～9月に養護実習Ⅱを行っています。

大分県内出身の方は、原則として、母校(小学校か中学校)で実習を行います。

大分県外の出身の方は、大分市教育委員会に依頼の上、養護実習を受け入れてくれる学校(小学校か中学校)を選定してもらい、実習生を配置しています。

大学の近隣校で養護実習を行うのは、実習期間中に担当教員が実習校を巡回することができるようにするためです。

Q8. 教職課程の履修に費用がかかりますか？

A8. 教科書代、実習校までの移動費、給食費が必要になります。

Q9. 教職課程の履修は大変ですか？

A9. 教職課程の開講科目の一部は選択科目として開講されます。

このため、教職課程を履修しない学生と比較して、修得する単位が25単位多くなります。このことは、受講する授

業が多くなり、試験、レポートの数も多くなることを意味します。

これをもって大変というかどうかは、人それぞれではないかと思います。

Q10. 教職課程の履修はいつから始まりますか？

A10. 1年次の2学期開講科目の「教職概論」2単位が、教職課程の最初の科目です。

入学してすぐの学期では、教職科目の開講はありません。大学に入学し、講義や試験などに取り組む中で、教職課程を履修するかどうかを考える時間を設けています。1年次の開講科目は、「教職概論(2単位)」1科目ですので、負担はそこまで大きくありません。教職課程を受けるべきかどうか判断に迷う場合は、とりあえず「教職概論」を履修登録し、講義を受ける中で、自分で考え判断します。

Q11. 教職課程の履修を途中でやめることはできますか？

A11. できます。

A3にあげた表からも、わかると思いますが、学年が進むにつれて、履修者は減っています。3年進級時の選考の結果、履修を取りやめになる場合もあれば、自分の意思で履修を取りやめる場合もあります。履修を続けるべきかどうか迷う場合は、相談すべき人に相談した上で、最終的には自己決定することが大切です。

Q12. 教職課程の履修を、途中(2年次以後)始めることはできますか？

A12. 本学の場合、不可能ではないが、かなり難しいというのが答えです。

2年次から開始した場合、1年次の開講科目「教職概論」が未履修となります。2年次になって、教職概論を履修しようとしても、教職概論が開講されている時間に、看護の専門科目が開講されている可能性が高く、履修が困難になるためです。

このため、本学では1年次に教職課程の履修に関するガイダンスを実施し、迷っている場合は、取り敢えず1年次開講科目の「教職概論」を履修登録するよう勧めています。

2. 教員採用試験、教員免許等について

Q13. 一種免許と二種免許の違いは何ですか？

A13. 基礎資格の違いです。

一種は学士(4年制大学を卒業することで授与されます)、二種は、短期大学士が基礎資格です。

採用試験において二種免許が不利になることはありません。

給与面では、学士である一種免許所持者が高いことが一般的です。

また、教育職員免許法第9条の2には、二種免許状を有する者の一種免許状の取得に関わる努力義務が規定され、一種免許状の授与を受けるよう努力することが求められています。二種免許で採用された場合、一種免許に切り替えるための講習を受講することで、二種免許を一種免許にすることができます。

Q14. 養護教諭として勤務する学校の種類(小学校、中学校など)は選べるのですか？

A14. 市町村立学校(主に小学校と中学校)と県立学校(主に高等学校と特別支援学校)に分けて試験を行っている自治体もありますが、多くの自治体では一括して試験を実施しています。

合格後に各自の意向(市町村立か県立か)を確認した上で、配置しているようです。市町村立学校を希望した場合、小学校に配置になるか、中学校に配置になるかまではわかりません。中学校に配置された後、異動の際に小学校に配置されるというケースもあります。

Q15. 教員採用試験について教えてください。

A15. 公立(県、政令指定都市など)学校の令和7年時点の採用試験(養護教諭)の傾向を説明します。

ほとんどの自治体は、一次試験と二次試験に分けて試験を実施しています。一次試験は一般教養と教職教養の試験、専門(養護教諭の場合は、養護専門)の試験から構成されるケースがほとんどです。出題形式は、客観式(多肢選択式)が中心になりますが、自治体によっては記述式の出題もあります。二次試験は、面接、場面指導(模擬授業)、実技(救急対応など)、口頭試問、集団討論などを組み合わせる形で行われます。自治体によっては、一次試験で面接が実施されたり、適性検査が行われたりなど、様々です。令和7年度時点で、3年次生を対象にした採用試験の実施、試験日程の前倒しなど、採用試験が変わりつつあることは理解しておくと思いいます。

Q16. 保健師の免許を取得することで、養護教諭の二種免許状を取得できるのですか？

A16. できます。

大学(教職課程の有無は不問)で、日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作などに関する科目を2単位ずつ取得し、保健師国家試験合格後、必要な書類を整えて、県などの教育委員会に申請することで、養護教諭の二種免許が授与されます。保健師の国家試験の合格発表が、例年3月下旬なので、その後に申請する形になります。卒業年度の3月31日時点では教員免許を所持していないことになるため、4年在学時に教員採用試験の受験資格がない場合(自治体)があります。

Q17. 看護師のように国家試験があるのですか？

A17. 国家試験はありません。

指定された単位を修得し、大学を卒業することで、養護教諭免許が授与されます。教員免許更新制度が廃止されたので、一度取得した免許に有効期限はありません。教員免許(普通免許)は、全国有効なので、どこの自治体でも使うことができます。

Q18. 養護教諭として勤務するためには、どのようなプロセスを経る必要がありますか？

A18. 公立(市町村立、都道府県立)の学校に正規採用されるためには、都道府県、政令指定都市等が実施する教員採用試験に合格する必要があります。不合格の場合、教育委員会に臨時講師等の任用登録を行い、声がかかるのを待つ形になります。私立の学校が募集するケースもあります。

Q19. 教員採用試験は難しいのですか？

A19. 令和6年度に実施された九州ブロックの教員採用試験(養護教諭)を例に、倍率について説明します。

まず、教員採用試験を行う自治体により、募集人数が異なります。倍率が高い自治体、そこまで高くない自治体、

様々です。沖縄県は 5 名程度の募集に志願者 175 名、志願倍率 35 倍です。鹿児島県は、23 名程度募集に 87 名出願で 3.8 倍です。ちなみに大分県は、10 名募集に 109 名志願で、10.9 倍です。

教員志望者が減っているというニュースがよく流れますが、養護教諭に関しては、そうではないというのが現状です。

Q20. 大学 4 年生の時に受けた教員採用試験に合格しなかったら？

A20. 養護教諭として勤務することを希望するのであれば、自分が希望する地域の教育委員会に臨時講師(呼称は自治体によって異なります)の登録をし、教育委員会からの連絡を待つことになります。

ちなみに大学で取得した教員免許は、日本国中どこにいても有効なので、どこにでも登録することが可能です。

Q21. 臨時講師としての採用はあるのでしょうか？

A21. 在校生からもよく質問されます。未来のことなので、確定的なことは誰にもわからないということを前提に、大分県をはじめとする九州ブロックの状況を説明します。

最初に、web を通して、臨時講師としての勤務を希望していることを登録します。この際に、勤務を希望する地区を限定したり、校種(高校のみなど)を限定したりすると、当然ながら、声がかかりにくくなります。登録は、日本全国どここの自治体でも可能です。複数の自治体にエントリーすることで、採用される確率は当然上がります。その後は、教育委員会からの連絡(電話またはメールで連絡が来ます)を待つ形になります。年が明ける前に連絡が来るケースはあまりありません。本学は 3 月 18 日が卒業式なのですが、その時点で連絡がないということが少なくないというイメージです。連絡後、赴任する学校に出向いて面接を行い、採用という流れです。

個人的には、地区・校種を限定しなければ、声がかかることが多いと感じています。

Q22. 養護教諭を希望していて、臨時講師登録をしないという人はいますか？

A22. います。

卒業後 2~3 か月で採用試験の一次試験になるため、自宅などで浪人するというケースがあります。このような方は、試験終了後、臨時講師登録をして、声がかかったら学校で働くというケースが多いようです。

確かに、4 月以後は、健康診断の時期と重なりますので、初めての学校で慣れない業務を行いながら、採用試験の勉強をするのは難しいかもしれません。他方、臨時講師として得られる体験が、日々の学習にポジティブに作用するという考え方もあります。特別支援教育支援員という形で、学校に勤務した方もいました。

何らかの形で学校に関わっていると、学校という組織がどのようなロジックで動いているのかを日々感じるができますし、採用試験の過去問で遭遇する様々な行政用語が、よりリアルに感じられるというのも本当だろうと思います。

Q23. 卒業時点で医療機関に看護師として就職した後に、養護教諭になった人はいますか？

A23. います。

卒業時点で医療機関に看護師として勤務し、その後、採用試験に合格し養護教諭として勤務している方が 4 名、臨時講師として勤務している方が 1 名です。勤務しながら採用試験の学習に取り組む方もいますし、看護師を退職

し、臨時講師をしながら採用試験の学習に取り組む方もします。毎年2～3名の方(卒業時には看護師として就業)から、採用試験の受験相談を受けます。

Q24. 教職課程の履修者で大学院などに進学する人はいますか？

A24. います。

これまでに13名の卒業生が、養護教諭の免許を手にした後に、保健師または助産師の免許取得を目指して大学院などに進学しています。内訳は、保健師のコースが9名、助産師のコースが4名です。

更新日:2025年4月17日